

第7回学校間連携会議記録

日 時	平成27年11月11日 14:00～17:00
会 場	富良野市図書館 3F 会議室
参 加 者	教頭 1名, 事務職員 13名, 教育委員会 1名 (欠席: 山部中)
会 議 録	
<p>1 代表あいさつ (布礼別小: 大槌)</p> <p>2 連絡協議事項</p> <p>教育委員会より</p> <p>(1) 役務費手数料の予算要望について</p> <p>共通要望事項等の協議の中で、ローテーションで何年かに1回大きく当たるような形を検討したいと話をしたが、改めて昨年度の決算をみると執行残があったので増額を要望するわけにはいかない。まず、各学校の執行残を調整して必要な学校にまわしたりローテーションで執行する等の方法をとってもらいたい。</p> <p>意) 調整となると財政部会ではなく、連携部会になるのではないか。</p> <p>答) 手数料だけではないが今回の連携会議の財政部会で検討した後、調整の文書をだそうと思っている。</p> <p>(2) 教育用パソコンの備品登録管理等について</p> <p>今年度、教育用パソコンを更新したところが何校かあるが、廃棄を含めうまくまわらなかった。今後は教育委員会で一括管理していこうと考えているが、詳細については今後提案したい。</p> <p>意) 備品シール等をどう扱うのか検討してほしい。以前の銀色のシールは貼りたくないのので、テプラで作成するという形にしてほしいがひな形を示す等、一定程度整理してだしてほしい。</p> <p>(3) 事務局より</p> <p>① 平成28年(2015年)の出勤簿・休暇等処理簿について、平成27年は統一しきれなかったが、来年分は市内統一した様式を使用するように確認してほしい。</p> <p>② 外勤簿の様式について、各学校で使用している様式の実態把握し、可能であれば来年度4月から市内統一したいと考えている。事務局で動いていきたい。</p> <p>3 各部会・特別委員会より</p> <p>(1) 財政部会</p> <p>共通・重点要望協議の記録を各学校に配信したところ。手数料については、それほど残額があると認識していなかった。先ほども話したように連携部会で、執行の主旨を普段できないもののクリーニングとおさえて今後調整してほしい。</p> <p>施設設備の要望について、教職員からの要望やこどもアンケートからの要望を踏ま</p>	

えて予算要望しているが、教育委員会は内容理解できるが来年度から2~3年は、外壁や屋根の塗装等、今やらなければ今後もっと費用がかかったり、根本的に施設がゆらぐようなものを優先的に修繕していこうと考えているようだ。

デジタル教科書の要望については、どの学校からも共通して要望があがってきているわけではないので共通要望として財政にあげるのは難しい。各学校の要望に応じてという形になる。

網戸設置については、以前と違いなんとか設置していきたいというスタンスにかわってきている。先日、教育委員会で調査を実施したので結果まち。

保護者負担軽減については、財政部会で調査を実施したが、「用紙」といっても色画用紙なのか画用紙（白）なのか半紙なのか、細かいチェックをしていなかったので調査自体に温度差がある。今後、より細かな調査をしていって富良野市内でバランスをとっていきたい。こういう視点で調査をしてほしいということがあれば意見を出してほしい。予算配分について、かなり昔は配分基準があったが最近は前年度ベースになっている。

意) サイボウズの掲示板で予算要望の留意点として、「決算ベースを超えない予算要求を」「経常経費はこれ以上増やさない」というようなことが書かれていた。保護者負担軽減に関連しては、政策的な予算をどう要求しひっばってくるか、委員会とも協議しながらやっていく方向で考えた方がよいのではないかな。

意) 医薬材料費で購入できる物品が限られて使いづらい。生理用品もだめと言われた。多田さんと話していたのだが、年度当初に消耗品費にまわすということはできるとのことだった。年度末の少しあまりそうなのでという流用は無理みたいだ。学校毎でも可能とのこと。

意) 財政から出てくるときにすでに医薬材料費になっているのか、委員会の配分時点で医薬材料費に振り分けられるのかで要望先が違ってくる。

意) 学校教育にきている中で配分されているのではないだろうか。財政と一回話し合う場があっていいと思う。お互いに理解してやっていけば軋轢を委員会予算で生む必要はない。

まとめ) ①一つでも政策的な予算をひっばってくるため、かざ穴をあけられるような取り組みを考える。②現在ある予算枠組みの有効活用 の観点から取り組みを進めていく。

(2) 情報部会

特になし

(3) 連携部会

① 配分予算の調査について

締め切り後、まとめてサイボウズ等で結果を知らせる。

② 配分予算の調整について

例年通り進めていきたいと思っていたが、手数料の関係で締め切りが2月では執行がよめないことも考えられる。また、残額について足りないところに流用するのがいいのか、ローテーションを組むのがいいのか意見がほしい。

意) 昨年度予算の執行最終締め切りが4月17日だった。3月中に終わらせるというの
はあるが、半月くらいのタイムラグをどうするか。ただ、2月の段階で要望をまと
めておく必要はある。今年度については、小学校も中学校もすべて使い切ると確
認すればよいのではないか。

意) 木村クリーニングは、できるのであれば春休みに集中しないようにしてほしいと
のことだった。冬休みにカーテン等のクリーニングをやっておけば執行の目途も
立てやすいのではないか。

意) 事務職員からだけのアプローチでよいのか。要望の積み上げということを考えると
養護教諭からの要望をきいた方がよいのではないか。

まとめ) 今年度については、まず各学校で使い切るということを確認。予算積み上げ
まで部会でやるかどうかは部会内で検討したい。

(4) 教職員の諸権利特別委員会

特になし

(5) 富良野市学校実務要覧特別委員会

特になし

4. 事務局より

(1) 服務実地指導調査の環流報告

11月18日に予定されている学校があるので、その後交流したい。すでに終了してい
る学校の結果は、各学校に配信されている。

5. その他

要望) 学校間連携会議の内容が学校経営に必要なこともあるので、記録の配信先に各
学校の校長・教頭を追加してもらいたい。

→ 今後、そのようにしたい。